

あっという間に夏の入り口の6月となりました。

ホール・園庭のあちこちで子どもたちは楽しそうに遊んでいます。今年度の6月はあざみ野白ゆりが開園して40年目の筋目の月です。41年前は今では信じられませんがこの辺りは岩盤の山で何も無い所にテントを張り、そこで願書を配布したものでした。見渡す限り、山・山・山です。近くに新しくできたゴルフ場があるだけです。そんな所によくもまあ願書を取りにきてくれたなあとありがたく感謝の気持ちでいっぱいでした。それから40年たち、現在があります。が誰が予想したでしょう、今の保育業界の変わり様を……。でも、私（園長）の教育方針は立ちあげる時と何らかわらず、“共に育つ”「共育」の精神は絶対曲げてはいけないと心に誓っています。そして、人と人との繋がりを大切に……。

先日、20年前に設置したタイムカプセルをあざみ野白ゆりで開けました。20年前と軽くいってしまいますが、招待用に出したハガキも半分くらい返ってきてはいましたが（さすがに20年前とは住所も変わってしまっているんですね。）当日になると、ホームページやまわりの人からの連絡で、想像を超える元園児達が集まってくれて、涙・涙・感激でいっぱいでした。それぞれ社会人になった子、まだ大学院生の子、海外にしている子（結構、多かったです）、保護者の方も大勢みえられ、もうそれはハッピーな一日でした。それぞれ小さい頃の面影を残し、話し方も小さい頃そのまま……。よく幼稚園の事を覚えているといってくれました。ケンカばかりしていた子らも、今ではそれを笑い話にして仲良く再会を楽しんでいました。それぞれ将来、何になりたいかとかその時の家族構成とかパパ・ママの20年後の事とかがカプセルの中から出てきて大笑い……。

こんな幸せがあっていいのかしらと、卒園生みんなに感謝感謝の一日でした。

やっぱり就学児前のこの時期は、友だち関係・親子関係・兄弟関係で「いさかい」「仲直り」の繰り返しで、人間としての自分の立場・つきあい方を覚えていく基本の年令なのだなあとあらためて感じたものでした。今、園児たちのこの子らも、これから色々な体験・経験をするでしょう。そして、人間として成長していくのだと信じています。

6月はいろんな行事があります。  
一日一日を大切に  
過ごしたいものです。



園長 白井 三根子